平成23年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代表者名 代表取締役社長 永田 良一
（コード番号：2395 東証一部）
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
（TEL:03-5565-6216）

平成24年３月期第２四半期連結累計期間の業績と前年同期業績との差異に関するお知らせ及び営業外費用（為替差損）の計上について

平成24年３月期第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）の業績（以下、当期業績）と、平成23年３月期第２四半期連結累計期間（平成22年４月１日～平成22年９月30日）の業績（以下、前年同期業績）との差異についてお知らせいたします。また、平成24年３月期第２四半期連結累計期間において下記の通り営業外費用を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．当期業績と前年同期業績との差異について

（１）当期業績と前年同期業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期業績（A）	8,293	△689	△1,056	△849	△25.79
当期業績（B）	6,723	△1,091	△1,412	△1,199	△34.93
増減額（B－A）	△1,569	△402	△355	△350	
増減率（%）	△18.9	－	－	－	

（２）差異が生じた理由

日米共に前臨床市場が低迷する中で、業務の効率化、経費の削減、厳選に取り組みました。営業利益は前年同期実績を 402 百万円下回りました。また、後述の通り為替評価損失を計上しており、経常利益、当期純利益はいずれも前年同期数値を下回り、上記の通り差異が生じました。

２．営業外費用（為替差損）の計上について

（１）営業外費用（為替差損）の内容

平成24年３月期第２四半期連結累計期間において、昨今の為替相場の変動により、営業外費用に為替差損372百万円を計上いたしました。これは、主に平成24年３月期第２四半期連結累計期間末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

なお、通期の為替差損益の額につきましては今後の為替相場の動きにより変動いたします。

（２）業績に与える影響

上記為替差損の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成24年３月期第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上